

清流のほとり

令和6年3月1日(金)発行

園長 津田 将美



ENCHO

両方の園にアクセスしていただき閲覧数のアップ、情報の共有にご協力ください。



寄 松田

カラー版はHPで…幼稚園HPのQRコードです↑

少なかった人の気持ち

「少なかった人の気持ちは、どうなるの？」
年長組さんで最後のお別れ遠足にどこへ行くかを話し合っている時に、こんな発言がありました。最終的にどこへ行くのかは、いくつかある候補地の中から多数決で決めようという声が出たことに対する発言でした。

この話し合いの様子を聞いた時に、私は「すごいなあ」と、とても感動してしまいました。年長という最上級生であるとは言え、まだ幼稚園の園児です。大人でもなかなか言えないこのような発言は、仲間を大切に様々なことを話し合っただけで決めたことの成果でしょうか。

その後話し合いは、その場所の魅力を伝えたり、友だちの考えに耳を傾けたりしながら、長い時間かかったそうです。そして子どもたちが出した結論は、「吾妻山公園とつぶらの公園、2カ所に行く。」というものでした。

予定にはなかったことなので、ここでも園長交渉です。みんなで心をひとつにして、園長を前に交渉を開始しました。

「何で、2カ所なんですか？」
「意見の少ない人のことも考えて…」
「みんなで話し合っただけで決めました。」

結果は…、もちろんOKです。今回も見事、交渉成立です。子どもたちの目には、おたまじゃくしを捕まえにいく時に見せたものと同じ、いや以上の輝きがありました。そして、このような姿勢が年少中の子どもたちにしっかり伝わり、引き継がれてきた1年間をしみじみ思い返したのであります。

2月2日には、豆まきを行いました。年長さん全員が鬼になってくれて、年少中の子どもたちを楽しませてくれました。豆を当てられながらも、本当に楽しそうに逃げる年長さんを見ていると、たくましさと共にやさしさや思いやりの心、生活を楽しもうとする豊かさがたくさん伝わってきました。その心は、きっと年少組、年中組の子どもたちにも伝わっていることでしょう。

さて、卒園式に向かっての日々が始まります。年少中組の子どもたちは、年長さんのためにできることを一生懸命考え、話し合っています。その過程もまた、子どもたちの成長や心の豊かさにつながるのだと思うと、何とも言えず、嬉しくなってきます。

保育参観発表会と懇談会

2月16日のこあら組の発表をもちまして、今年度の保育参観発表会・懇談会はすべて終了しました。多くの保護者の方々にご参加いただき、本当にありがとうございました。

懇談会では、日ごろの園生活や発表会の取り組みの過程について、あたたかい励ましのお言葉をいただきましたようで、職員一同大変ありがたく思っています。

今後も保護者の皆様と同じ方向を向き、子どもたちのために励んでいきたいと思っております。

